

安倍暴走政治からくらしを守る

市民要求であつたか市政前進を

3月市議会

日本共産党市議団が全力

2月24日から3月24日の会期で3月定例会市議会が行われました。この議会で審議された市長提出議案は新年度予算案など44

件。全てが可決されました。

消費税の増税や経済政策の失敗など、安倍暴走政治の影響で市民の暮らしはいつそう厳しくなっています。

また、マイナ

バー制度施行や

介護保険の制度

改悪、区画整理

や市営住宅改修

に関する交付金

が減少傾向にあ

ることなど、国

政の影響も見過

ごせません。日

本共産党市議団

は、これらの現

状や問題点、市

民への影響など

を指摘。市民の

暮らしや権利を

守る立場で対応

することを求め

るとともに、く

国民の共同で政治を変えよう！

らしを応援する頼高市長の「あつたか市政」をさらに前にすすめる立場で審議にあたりました。

情勢は、戦争法など、平和と民主主義の危機的状況がある一

方で、国民の自発的な運動が野

党共闘の実現など政治を動かし、

新たな希望が広がっています。

また、消費税増税の影響が深刻

な国民生活や低迷する経済状況

など、アベノミクスは破たん。

政治は国民・市民のために

頼高市長の施政方針表明

議会初日、頼高市長は施政方針を表明しました。市長は、国政や日本経済の現状にもふれ「国民、市民が豊かになつてこそ、

本当の意味での景気回復が実現

し、日本の未来が開ける」「政治

は今議会への陳情は2件。①自治

体が努力してきた子ども医療

費無料化を制度化すること、

窓口払いをなくしている自治体

へのパネルティを廃止すること

を国に求める、②最低保障年金

制度など誰もが安心できる年金

制度の実現を国に求める、とい

う内容で、どちらも切実な要求

です。日本共産党は賛成討論し

くらし優先の経済政策への転換が必要です。審議を通して、国政を変える重要性も強調しました。

子育て・年金制度の

充実願う陳情

新生会・公明党が反対

今議会への陳情は2件。①自治

体が努力してきた子ども医療

費無料化を制度化すること、

窓口払いをなくしている自治体

へのパネルティを廃止すること

を国に求める、②最低保障年金

制度など誰もが安心できる年金

制度の実現を国に求める、とい

う内容で、どちらも切実な要求

です。日本共産党は賛成討論し

採択を主張しましたが、新生会・

公明党が理由を示さないまま反

対。両陳情とも不採択となりま

した。

は国民、市民のために」と表明。

あつたか市政推進への決意を述

べ、将来ビジョンと市長マニフ

エストの本格実施予算としての

2016年度予算概要を紹介し

ました（詳細は2・3面）。

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2016年4月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

市議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
梶原秀明 ☎447-1928 宮下奈美 ☎211-0922
ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> 共産党蕨 検索
メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2016年度 市民の願いが反映された予算が成立

公共施設の耐震化を促進

- 市民体育館（北町コミュニティセンター）の耐震化工事
- 市民会館（中央公民館・青少年センター）の耐震設計
- 錦町児童館、消防署塚越分署、図書館の耐震診断

スタンドパイプを地域に配備

消火栓接続型の初期消火器具を希望する自主防災会に支給



耐震化工事が行われる市民体育館

家具転倒防止器具購入・設置費用補助の拡大

上限1万円の補助を、今年度に限り全ての世帯を対象に

市内全ての防犯灯をLED化
通話録音装置を貸与
高齢者世帯などを対象に振り込み詐欺防止を目的に実施

認可保育園を新たに2園増設

待機児童をなくすために、錦町と中央に各々60名定員の民間認可保育園が4月に開園し、保育園の合計定員は1108名に



4月開園の蕨すこやか保育園（錦町3丁目）

全ての市立保育園で土曜日午後7時までの通常保育

留守家庭児童指導室を小学校内に3か所増設
北小、南小、塚越小に増やし14施設に拡充

児童扶養手当の増額

多子加算額を8月から倍額へ増額（所得制限あり）

教育センターを新たに設置

福祉・児童センター内に相談機能を強化した教育センターを整備し、スクールソーシャルワーカーを配置

市独自の35人程度学級を継続

教育効果があらわれている35人学級は新年度は6つの学年で実施

住宅リフォーム助成を継続

原発ゼロの社会へむけて太陽光発電設備等設置費補助金を継続

3世代ふれあい家族住宅補助

親子3世代の同居または近居のための住宅取得への補助。15年度途中からの制度を継続

小中学校等のトイレ対策強化

- 東小、南小、二中の学校トイレを洋式化へ改修
- 小中学校トイレの臭気対策の清掃を継続
- 図書館2階のトイレ洋式化

就学援助制度

経済的困難をかかえる小中学生がいる家庭に、学用品費・給食費などを補助

がん検診の拡充

胃がん検診は60歳以上に胃部エックス線検査と胃内視鏡検査の選択制を導入。乳がん検診の期間を17日間に拡充

特定保健指導はスポーツクラブとの協働で参加率向上を目指す



留守家庭児童室が整備される塚越小学校隣地

欺防止を目的に実施

職員へのストレスチェック

市職員、教職員のメンタルヘルス対策として実施

経験加算制度の導入

資格職などを対象に事務補助員（非正規職員）の賃金制度を改善

公共施設等総合管理計画の策定

15年度に行った調査研究に基づき、長期的視点に立った施設管理の基本方針を策定

下水道管路長寿命化計画の策定

妊婦音楽コンサート実施や父子手帳を配布

認知症予防講座やいきいき100歳体操のさらなる普及

福祉連絡システムを50台新規借り上げ、利用者を増やす

福祉入浴券、福祉理美容券、介護保険サービス利用者負担軽減助成金、在宅要介護高齢者手当の継続

高齢者・障がい者・ひとり親家庭世帯への家賃助成（所得等制限あり）・継続

障がい者のサービス利用が増加

すべての利用者に利用計画が作られ、障がい者の自立や社会参加をすすめるための必要なサービス利用が増加

地域活動支援センター「つむぎ」に運営補助の実施

精神障がい者が就労訓練をする場となる「つむぎ」に対する補助を開始

生活困窮世帯・生活保護世帯への学習支援を週2日へ拡大

国民健康保険税の基本税率のすえおき

・日曜等に管理人を増員

錦町スポーツ広場の人工芝化の設計

借金の減少と基金積み立て

土地開発公社健全化などで借金総額は約3億1千万円減らす一方、公共施設整備の基金は、約6億円増やし、24億8千万円に（15年度末）

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX 444-6531



鈴木さとし



やまわき 紀子



梶原 秀明



宮下 奈美

日本共産党 市議団の 市民相談

4月13日(水) 27日(水) 午後2時～4時
5月11日(水) 25日(水) 市役所4階
日本共産党市議団控室

無料 当日の連絡先 ☎432-3590

希望者が急増する
留守家庭児童指導室
いっそうの拡充を



生活相談などお気軽に

鈴木さとしのプロフィール

●市議4期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市委員長 ●家族は、妻、子(17歳、15歳、11歳) ●中央5-9-7 ☎444-6957 ●主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1・3・4・5丁目
@suzuki719、フェイスブックでも発信中

鈴木 全国的に学童保育の希望が増えている。新年度には2室(中央小と東小、定員各30人)が開設されるが、希望者の状況はどうか。
健康福祉部長 前年度と比べ、新規は市内計47人増、継続も同47人増となり全体で97人の増。二歳は上昇傾向にある。
鈴木 南小、塚越小、北小各学区で行われる留守家庭児童指導室増設の効果について。どの程度の整備となるか。
健康福祉部長 整備を行うことで、少なくとも4年生までは待機がないよう計画を進めたい。

鈴木 今後の整備にあたっては直営の堅持を基本として行うことを要望する。そのためにも、待遇改善や研修等の充実が必要と考える。
健康福祉部長 指導員確保に努め、待遇改善、研修の充実等は検討したい。指導員確保が難航し指導室開設ができない状況では、業務を委託する可能性もある。
鈴木 蕨市が、他市に比べて特に不足しているわけではないが、制度変更への対応や急速な希望増加への対策は一層重要になる。児童の放課後の居場所対策について他施策との連携を含め検討を。
利用しやすい介護などの相談窓口や案内の充実を
鈴木 介護等の相談窓口対応は。

健康福祉部長 制度紹介や説明でなく、個別の支援が必要な場合は、地域包括支援センターへの相談を案内している。

鈴木 制度的にはその通りだが、その対応が「たらい回し」と認識される事例もあり、丁寧な説明・連携が必要。地域包括支援センターについて相談窓口としての認知度を向上させることや、分かりやすい名称への変更など対応が必要と考える。

ところで、在宅での介護にあたる家族間の交流はどのようか。

健康福祉部長 市内3か所の介護交流サロンがあり、案内している。

鈴木 交流は大切な「支え」と聞く。周知の機会を増やす努力を。

また、家族へのアンケートや調査を行うよう要望する。

地域での防災

新年度導入のスタンドパイプは市民が初期消火に使用する機材。二次災害防止のため訓練を行うよう求めました。

これまで、災害防止、要支援者対策、初期消火、避難所運営など、地域の「共助」の充実が図られてきました。一方で、地域の役割は多様。全体の整理、具体化への支援、地域力向上など、地域の努力を応援する市の対応がいっそう必要です。

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

◆待機児童をなくす、地域型保育実施に伴う課題、家庭保育室への援助
◆不登校への対応、特別支援教育の推進、生活困窮者学習支援の推進
◆福祉入浴券を戸田市の浴場でも使えるようにできないか



梶原秀明議員

◆市民体育館・北町公民館の耐震化工事中における代替施設の確保
◆聴覚障がい者福祉。障害者差別解消法への対応
◆保健センターのクールオアシスの周知
◆選挙の共通投票所



宮下奈美議員

◆多文化共生(国籍・文化の違いを認め合い、共に生きる)について
◆蕨市立病院で、生計困難者のための無料低額診療事業を実施する考えはないか、について



不登校対策や特別支援教育の充実を求める

【山脇】不登校児童・生徒の状況や、相談室等に登校している状況はどうか。

【教育長】2月末現在、小学校9名、中学校30名が30日以上欠席。保健室に3名、相談室に21名、適応指導教室に10名が通室。

【山脇】教育センターの新設やスクールソーシャルワーカーが配置されるがどのような役割か。

【教育長】問題を抱える児童・生徒への働きかけ、学校におけるチーム体制の構築、保護者・教職員等にたいする支援・相談及び情報提供、教職員等への教育相談研修などの業務に従事し、教育相談、就学相談体制の充実を図る。



やまわき紀子のプロフィール

- 1972年わらび生まれわらび育ち。
- 現在、市議5期。環境福祉経済常任委員会委員長、党市議団幹事長、原水爆禁止藤市協議会副会長、中学・高校PTA役員など。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています

f フェイスブックでも情報発信中

【山脇】塚越地域から南小の特別支援学級に通学してきている児童数はどうか。学級を設置する基準や増設の見込みはどうか。

【教育長】南小学校は知的障害学級3名、自閉症・情緒障害学級に4名。塚越地区からは1名ずつの計2名が通学。1名からでも設置できるようにしたので、児童・生徒の増減や保護者のニーズをふまえながら、塚越地域の設置については今後考えていきたい。

【山脇】特別な支援を必要とする児童・生徒の状況は。児童数の増加から特別支援教育支援員の増員をはかっているか。教育支援員等の募集の65歳以下という年齢制限は見直す考えは。

【教育長】小学校90名、中学校43名。支援員配置に伴う教育効果は

認識しているが予算上の課題もあり検討課題とする。年齢制限は検討したい。

待機児童をなくして子育てを応援するまちへ

【山脇】入園を不承諾となった人数はどうか。公立保育園での定員拡大など緊急の対策が必要ではないか。

【健康福祉部長】不承諾者数は49人(昨年度から86人減少)。小規模保育で定員の余裕があるので0歳から2歳児まではマッチングを行う対応する。

福祉入浴券を戸田市の浴場でも使用できるようにしてほしい

【部長】引き続き協議を進めている。

新年度予算にもりこまれた
地域要求(二部)

- 南小学校のトイレ改修(2階)
- 南小学校内に学童保育室を設置(夏休みの開設予定・暫定的に児童館内で4月から受け入れ)
- 図書館の耐震診断、2階トイレ洋式化、冷水器設置○南公民館の会議室ドア改修○桜並木の樹勢回復事業

日本共産党市議団の
一般質問項目

鈴木さとし議員

- ◆留守家庭児童指導室(学童保育)の充実、急増する希望者への対策、指導員確保の対応など
- ◆高齢者福祉・介護の相談窓口対応と在宅介護家族の交流の充実
- ◆災害時、地域の対応について



宮下奈美議員

- ◆多文化共生(国籍・文化の違いを認め合い、共に生きる)について
- ◆藤市立病院で、生計困難者のための無料低額診療事業を実施する考えはないか、について



梶原秀明議員

- ◆市民体育館・北町公民館の耐震化工事中における代替施設の確保
- ◆聴覚障がい者福祉・障害者差別解消法への対応
- ◆保健センターのクールアサシスの周知
- ◆選挙の共通投票所



3月市議会

梶原秀明の一般質問

市民体育館・北町公民館工事中の対策、 聴覚障害者福祉などを質問

体育館・北町公民館が耐震化工事で、7月から1年間使えなくなるため代わりの施設利用対策を求めました。複数の体育施設の他、左記の施設が利用可能だと教育部長が答えました。

▼松原会館は59歳以下も（和室）利用可▼保健センター2階を利用可▼寧幸会の特養ホーム・サンクチュアリ（北町5丁目）は火・木曜日のみ利用可▼総合社会福祉センターは3つの集会所が利用可▼松原会館、社会福祉センター、サンクチュアリの利用は原則無料。

【梶原】町会等の備品利用に配慮を。

【部長】お祭りなどで使う長机・イスや、町会倉庫など、従来どおり使える

よつ、工事業者と協議する。

【梶原】図書ボックスはどうか。

【部長】返却ボックスを工事中も使えるように、工事業者と協議したい。

聴覚などの障害者福祉

【梶原】福祉サービスの補聴器は使いづらいとの声がある。

【部長】補聴器の支給は、医師の意見書などの調査を、県で審査し決めている。県の基準なので、本人の希望に添えない場合もあると聞いている。

相談は
いつでも
どうぞ



●市議4期、教育まちづくり委員、国民健康保険運営協議会委員、中小企業診断士●北町在住、Tel/Fax：447-1928
ホームページ：jcp-warabi.jp
メール：kajiwara@jcp-warabi.jp
@KajiwaraHideaki

【梶原】国・県の基準を改善する必要がある。屋内信号装置などの制度を知らない人がいるのではないか。

【部長】聴覚障害約140人へ

2015年度に実現した道路・公園要望から



交差点安全対策「通学路あり」
（北町2丁目13番地付近、市立病院から神社方面へ）



5ヶ所で道路修繕（北町5丁目用水桜並木）



市民公園の新しいベンチ（バス待ちもできます）



市民公園のバーベキューマナを改善（管理人を増員）

消費税増税中止署名を 呼びかける梶原市議



の周知徹底を検討したい。

【梶原】4月施行の障害者差別解消法への対応はどうか。

【部長】合理的配慮が義務付けられる。

相談窓口を障害者福祉係におく。
◆他に、選挙投票所、保健センターのクールアアシスを質問。

日本共産党市議団の 一般質問項目

やまわき紀子議員

◆待機児童をなくす、地域型保育実施に伴う課題、家庭保育室への援助

◆不登校への対応、特別支援教育の推進、生活困窮者学習支援の推進

◆福祉入浴券を戸田市の浴場でも使えるようにできないか



鈴木さとし議員

◆留守家庭児童指導室（学童保育）の充実、急増する希望者への対策、指導員確保の対応など

◆高齢者福祉・介護の相談窓口対応と在宅介護家族の交流の充実



宮下奈美議員

◆多文化共生（国籍・文化の違いを認め合い、共に生きる）について

◆蕨市立病院で、生計困難者のための無料低額診療事業を実施する考えはないか、について



多文化共生（国籍・文化の違いを認め合い、共に生きる）について

【質】 蕨市の外国人割合は6・3%になり、県内で最も割合が高い。多文化共生について市独自の計画をつくる考えはないか。

【答】 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの分野別計画の一つに掲げ取り組んでいる。今後も推進を図る。

【質】 窓口の対応はどうか。

【答】 8か国語での電話仲介通訳事業を実施している。

【質】 外国人向けの総合的な相談窓口を設けて、目立つ看板を掲げているかどうか。



宮下 奈美のプロフィール

- 1976年生まれ、わらび育ち。
- 現在、市議1期。環境福祉経済常任委員会委員、衛生センター組合議会議員、消防委員、小学校PTA役員など。
- 住所 錦町5-1-8 TEL 211-0922
- 主な活動地域は、錦町全域。中央2・6・7丁目

困りごとなどご相談お受けしています

f フェイスブック・ブログでも情報発信中



【答】 市役所1階市民活動推進室

で様々な相談を受けている。現体制を基本にし、窓口への表示の仕方等、より効果的な運用を研究する。

【質】 日本語が話せない児童・生徒への日本語指導の強化と平成28年度の県費による加配教員数はど

蕨市立病院で、生計困難者のための無料低額診療事業を実施する考えはないか

【質】 お金がないため病院に行けないという人をなくすために、社会福祉法に規定されている無料低

うか。

【答】 適切な教員配置を県に要望している。28年度の人数は3月末までに確定する。

【質】 日本語指導が必要な児童生徒は28年度何人か。

【答】 小学校75名、中学校で19名が想定されている。

【質】 人数が多い。日本語指導はたいへん重要だと思う。よろしくお願ひしたい。

額診療事業を実施してはどうか。

【答】 調査・研究する。

【質】 生活保護申請から決定するまでの間に診療した人から健康保険の自己負担分を支払わせているが、とらないようにできないか。

【答】 保護申請しても却下される人もいる。未収金を防ぐためにいただいている。

【質】 手持ち金が少なく、体調が悪くても受診を控える人もいる。未収金になるという心配より、病院に行けないという人のことを考えなければならぬと思うが、預かり金をとらないようにできないか。

【答】 相談されれば状況によって丁寧に対応していきたい。

日本共産党市議団の一般質問項目

鈴木さとし議員

- ◆留守家庭児童指導室（学童保育）の充実、急増する希望者への対策、指導員確保の対応など
- ◆高齢者福祉・介護の相談窓口対応と在宅介護家族の交流の充実
- ◆災害時、地域の対応について



やまわき紀子議員

- ◆待機児童をなくす、地域型保育実施に伴う課題、家庭保育室への援助
- ◆不登校への対応、特別支援教育の推進、生活困窮者学習支援の推進
- ◆福祉入浴券を戸田市の浴場でも使えるようにできないか



梶原秀明議員

- ◆市民体育館・北町公民館の耐震化工事中における代替施設の確保
- ◆聴覚障がい者福祉
- ◆障害者差別解消法への対応
- ◆保健センターのクールアサシスの周知
- ◆選挙の共通投票所

